



平成 26 年 9 月 30 日

独立行政法人国立科学博物館

企画展「きのこ展 コケ？きのこ？そうか！地衣類だ！！」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園（園長 岩科 司）において、来る 10 月 18 日（土）から 10 月 26 日（日）まで、企画展「きのこ展 コケ？きのこ？そうか！地衣類だ！！」を開催致します。

2010 年から 5 回目の開催となる本年のきのこ展では、野生きのこ・きのこアート展示に加え、知られざるきのこの仲間である「地衣類」に焦点をあてて紹介します。

地衣類はカビやきのこと同じ菌類の仲間です。ただし、見たことのある方のほうが少ないのではないのでしょうか。多少生き物について詳しい人ならコケによく似た地衣類が岩や樹皮上に生えている様子を見たことがあるかもしれません。このように存在自体が謎とも言える地衣類ですが、地球の陸上には至るところに存在し、多様性が非常に高いグループであるとともに、生態系において重要な役割を果たしています。本展示では、気候帯の違いによる地衣類を紹介する他、藻類と共生する不思議な実態について、また地衣類を利用する動物、人間との関わりなどについて幅広く紹介します。

つきましては、展示のオープンに先立ち、10 月 17 日（金）午後 1 時 30 分～2 時 30 分の間 プレス内覧会を実施いたしますので、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて 10 月 14 日（火）までにお知らせ下さい。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：保坂 健太郎（植物研究部菌類・藻類研究グループ）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: nishida@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>

企画展「きのこ展 コケ？きのこ？そうか！地衣類だ！！」展示概要

1. 名 称 企画展「きのこ展 コケ？きのこ？そうか！地衣類だ！！」
2. 期 間 平成 26 年 10 月 18 日（土）から 10 月 26 日（日）までの 9 日間
※期間中休園なし
3. 場 所 国立科学博物館筑波実験植物園

4. 展示内容及び関連企画

（１）**地衣類の展示**（展示会場：教育棟）

知られざるきのこの仲間、「地衣類」についてたっぷり紹介します。この展示を通じて、意外にも身近な環境で多くの地衣類が存在していることや、人間の生活にも深く関わっているを感じていただけることと思います。

- ① コケとの違い、きのこの共通点
- ② 菌類としての地衣類
- ③ トナカイと地衣類・きのこ
- ④ 気候の違いと地衣類
- ⑤ 大気汚染と地衣類
- ⑥ 光る地衣類
- ⑦ 地衣類の利用
- ⑧ 植物園の菌類調査



チズゴケ



リボンゴケ

（２）**野生きのこの展示**（展示会場：多目的温室）

展示される野生きのこはいままで以上に数多く 300 点以上。北海道から九州まで、日本各地で採集されたきのこや、つくば市内を中心に大量の野生きのこを展示します。また、代表的な栽培きのこについても、栽培状況がわかる形で展示を行います。写真撮影、触る、匂うなど全て OK です。ぜひ時間の許す限りきのこを体感してください。

[2013 きのこ展 野生きのこの展示の様子]



（３）**きのこアート展示**（展示会場：研修展示館 1 階展示室）

つくば市在住のきのこ版画家 武井佳子氏のきのこ版画作品、きのこ押し絵作家 中谷佳詩子氏の押しきのこ作品、女子美術大学きのこ同好会の作品等を展示します。きのこ版画は武井佳子氏による新作を展示します。野生きのこの迫力そのままに、きのこのぬくもりを感じることでできる作品です。押しきのこは奈良県在住の中谷佳詩子氏による、普段は絶対見ることでできない、研究者でもできない、きのこを「押す」ことによる独特の世界

をご覧ください。ファンタジー感満載の作品です。その他、女子美術大学きのこ同好会による、きのこ好きの美大生にしかできない表現力をお楽しみください。

(4) **きのこ画コンテスト「きのコン」応募作品展示**（展示会場：研修展示館1階展示室）

きのこ愛を競うきのこ画コンテスト「きのコン」の応募作品を展示します。きのこ愛あふれる作品をご覧ください。なお、平成26年10月26日（日）12時から入選者表彰式を行います。

今年で4回目となる「きのコン」ですが、今年は地衣類の作品も募集しました。このコンテストは絵の上手さを競うコンテストではありません。きのこ愛・地衣愛に満ちた作品が多数集まりました。想像力あふれる作品をお楽しみください。

(5) **菌類なんでも鑑定団**

- ① 日時 平成26年10月20日（月）、22日（水）午前11時00分～午後1時00分
- ② 会場 多目的温室
- ③ 内容 来園者をご持参いただいたきのこ・カビ・地衣類など菌類を鑑定します。きのこのように正体がわからない、庭に変な生き物が生えてきた、など正体不明の菌類をお持ちください。写真でも結構です。ただし、以下ご注意ください：
 - a. 菌類は地球上に150万種以上存在する、超多様な生き物です。未知種もたくさんいるので、名前がわかるとは限りません。
 - b. きのこの食・毒に関する鑑定については保障できかねます。
 - c. 販売目的の鑑定依頼は受け付けません。

(6) **菌類セミナー**

- ① 日時 平成26年10月26日（日）午前10時00分～10時30分/午後2時00分～2時30分
- ② 会場 研修展示館3階セミナー室
- ③ 内容 「菌類がつなぐ動物・植物」
- ④ 講師 国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ長 細矢 剛
- ⑤ 定員 50名（会場にお越しください。先着順。）

(7) **地衣類テラリウム講座**

- ① 日時 平成26年10月19日（日）午後2時00分～4時00分
- ② 会場 研修展示館3階セミナー室
- ③ 内容 地衣類のテラリウムの作製講座
- ④ 講師 国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ 大村 嘉人
（有）パッサージュ 代表取締役 弓木 美佳
- ④ 定員 20名（要予約：往復はがきで申込み。）
- ⑤ 参加費 1,000円（税込）

(8) **地衣類アクセサリを作ろう**

- ① 日時 平成26年10月25日（土）午後2時00分～4時00分
- ② 会場 研修展示館3階セミナー室
- ③ 内容 実物の地衣類を使った樹脂包埋アクセサリの作成
- ④ 講師 国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ 大村 嘉人
マニアック生物アートサークル「生物部」梅沢麻里子
- ⑤ 定員 20名（要予約：往復はがきで申込み。）
- ⑥ 参加費 500円（税込）

(9) **きのこ工作コーナー**

- ① 日時 平成26年10月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)
- ② 内容 きのこマグネット&地衣類パズル製作
- ③ 定員 各日先着100名(会場にお越しください。)

(10) **園内きのこ案内とギャラリートーク**

- ① 日時 会期中毎日(土日:午前11時～、午後1時～ 平日:午後0時～)
- ② 内容 菌類を研究している3人の博士による展示物及び植物園に生えているきのことその仲間たちの解説。

※10月18日(土)手話通訳付き、10月26日(日)きのこ博士によるスペシャル案内

現在植物園に生えているきのこには以下のようなものがあります。同様に多様なきのこが10月終わりまで発生します。植物園のきのこ案内では、その時に実際に生えているきのこを解説しながら観察します:



イヌセンボンタケ: 小型で1センチ程度ですが群生します。



タマゴタケ: 派手だが毒キノコではなく、食用キノコです。



マントカラカサタケ: 高さ50センチほどになる超大型きのこ。



ニガクリタケ: 秋に生える代表的な毒きのこ。



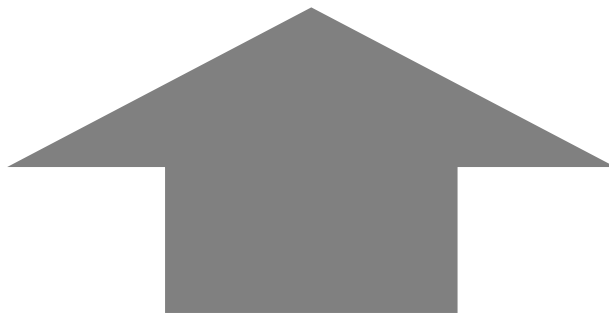
ノウタケ: 毎年植物園では数百個が群生します。



エリマキツチグリ: 成熟すると星形に開くきのこ。

(11) **グッズ・料理店出店**

会期中、本展限定のグッズ、きのこに関する飲食店の出店等があります。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 2 9 - 8 5 3 - 8 9 9 8 >

国立科学博物館筑波実験植物園

「きのこ展 コケ？きのこ？そうか！地衣類だ！！」内覧会参加票

(平成 26 年 10 月 17 日 (金) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分)

受付：午後 1 時 20 分 同園教育棟ロビー

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、平成25年10月15日までにFAXにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____

きのこ展

コケ?きのこ?そうか!地衣類だ



2014 会期中は毎日開園

10/18 日 - 26 日

国立科学博物館筑波実験植物園

開園時間9:00~16:30 (入園は16:00まで) 入園料 一般310円 (高校生以下・65歳以上無料)

©2014 国立科学博物館

イベント情報

野生きのこ・栽培きのこ展示 (会期中) 園内きのこ案内・ギャラリートーク (土日: 11時~、13時~、平日: 12時~、30分、18日手話通訳付) 研究員セミナー「菌類がつなぐ動物・植物」(26日 10時~、14時~、各30分、予約不要) 地衣類テラリウム講座 (19日14~16時、要予約、定員20名) 地衣類アクセサリを作ろう (25日 14~16時、要予約、定員20名) 菌類なんでも鑑定団 (月水: 11~13時) きのこ画コンテスト (会期中) きのこアート展示 (会期中) きのこマグネット&地衣類パズル製作 (土日、先着100名) グッズ販売・料理屋台出店 (土日)

問い合わせ先 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館筑波実験植物園

電話 029-851-5159 (代表) FAX 029-853-8998 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2014/10kinoko/>

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden



国立科学博物館
National Museum of Natural History

きのこ展

コケ?きのこ?そうか!地衣類だ

きのこって何の仲間?どんな形のきのこがある?きのこってどこで何をしているの?そんな不思議がいっぱいのきのこワールド。
今回は野生きのこを大量展示する迫力はそのままだに、きのこの仲間である地衣類の秘密について大特集します。見た目はコケのようだけどコケじゃない。菌類と藻類の共生体がその正体。きのこことその仲間を見る、触る、味わう、匂う、そして聴く。五感をフル活用して、きのこの世界を体験してください。

イベント情報

野生きのこ・栽培きのこ展示(会期中)
きのこ画コンテスト(会期中、26日12時~表彰式)
きのこアート展示(会期中、出品者:武井桂子氏、中谷佳詩子氏、女子美術大学きのこ同好会ほか)
菌類なんでも鑑定団(月水:11~13時)
菌類セミナー「菌類がつなぐ 動物・植物」(26日10時~、14時~、各30分)
地衣類テラリウム講座(19日14~16時、要予約、定員20名、参加費1,000円)
地衣類アクセサリを作ろう(25日14~16時、要予約、定員20名、参加費500円)
きのこマグネット&地衣類パズル製作(会期中の土日、先着100名)
グッズ販売・料理屋台出店(会期中の土日)



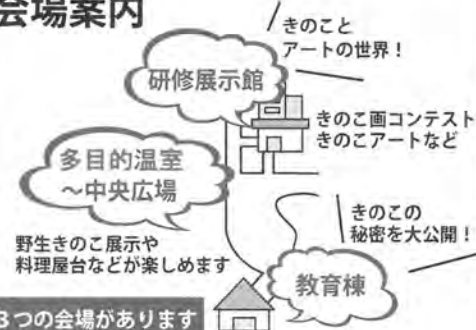
地衣類アクセサリ

きのこコン 作品募集

きのこ愛にあふれた「きのこ画コンテスト」(=きのこコン)を開催します。今年も地衣類も大歓迎。応募用紙は筑波実験植物園内に直接配布。応募期間(9/30まで)。

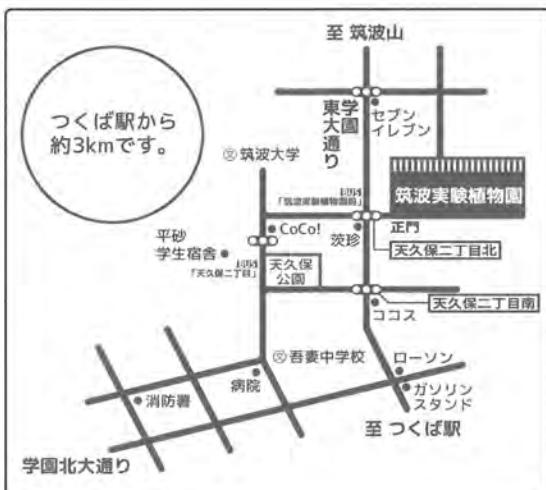


会場案内



園内きのこ案内とギャラリートーク (※天候により変更する場合があります)

国立科学博物館植物研究部で菌類を研究している3人の博士(保坂健太郎・細矢剛・大村嘉人)が、展示品および植物園に生えているきのこことその仲間たちの解説を行います。
実施日:期間中の(土日:11時~、13時~。平日:12時~。18日は手話通訳付。26日午後はきのこ博士によるスペシャル案内)(1回30分~1時間程度)。



アクセス情報

所在地 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

■自家用車 (※駐車スペースに限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用下さい)
常磐自動車道 桜土浦I.C.から北へ約8km。無料駐車場あり(乗用車120台分)。

■電車・バス

つくばエクスプレス「つくば駅」(つくばバスターミナル)より関東鉄道バス5番乗り場「テクノパーク大穂」行き→「筑波実験植物園前」下車→徒歩2分
6番乗り場「筑波大学循環左回り」コース→「天久保二丁目」下車→徒歩8分

お問合せ先 TEL:029-851-5159 (代) FAX:029-853-8998

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

国立科学博物館筑波実験植物園

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2014/10kinoko/>



国立科学博物館

National Science Museum

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Experimental Botanical Garden